

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社 I-ne 上場取引所 東
 コード番号 4933 URL https://i-ne.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 洋平
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 佐藤 洋志 (TEL) 06-6443-0881
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	14,322	36.1	1,588	282.7	1,562	322.9	906	260.6
2020年12月期第2四半期	10,527	—	414	—	369	—	251	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 906百万円(313.7%) 2020年12月期第2四半期 219百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	104.58	100.64
2020年12月期第2四半期	34.22	—

- (注) 1. 当社は、2019年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2020年12月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	13,565	8,068	59.6
2020年12月期	13,165	6,939	52.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 8,089百万円 2020年12月期 6,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	19.8	2,000	32.2	1,900	36.7	1,050	16.0	120.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期2Q	8,741,020株	2020年12月期	8,634,900株
2021年12月期2Q	一株	2020年12月期	一株
2021年12月期2Q	8,671,140株	2020年12月期2Q	6,600,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が継続しており、2021年4月には首都圏や関西圏等4都府県を対象に緊急事態宣言が発令されるなど、依然として経済活動の停滞や個人消費の悪化など厳しい状況が続いております。感染拡大防止策を講じる中で経済活動の緩やかな回復が見込まれますが、景気の先行きは依然として先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況の中で、当社グループは「ビューティーテックカンパニー」として、「スピード」「デジタルマーケティング」「クリエイティブ」を強みとして、独自の商品・ブランド開発モデルによって、積極的な新商品開発、マーケティング、市場開拓、海外展開及び事業提携を進めてまいりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(a) 国内事業

主な事業内容は、当社が開発したブランド商品の日本国内の卸売事業者を通じた小売店及び量販店運営事業者への卸売販売、インターネットを活用した日本国内の一般消費者への直接販売であります。

国内事業では、持続的な成長に向けて、当社が強みを持つヘアケア、スキンケア、美容家電分野の継続的な投資実行及び新たなトレンド発掘に注力しました。

BOTANISTブランドにおいては、2021年3月に実施しましたスタンダードラインである「ボタニカルシャンプー・トリートメント」のフルリニューアル（新デザインの導入や品質の更なる向上、容器全てをプラスチック容器からバイオマス容器へと切り替え、サステナブルなブランドとしてリニューアル実施）について、オンラインストアやBOTANIST Tokyo（表参道原宿）、BOTANIST ルクア大阪店、全国バラエティショップ、全国ドラッグストア等での販売施策に引き続き注力し、ブランド拡大に取り組みました。また、2021年6月に「ボタニカルリフレッシュシリーズ」を発売いたしました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛等が継続している中においても、ドラッグストア及びオンラインストアを通じた販売は堅調に推移し、売上高の伸長に寄与しました。

SALONIAブランドにおいては、2021年5月に「スピーディーイオンドライヤー」「スクエアイオンブラシ」の限定カラーを発売いたしました。また、2021年6月に美容液ミストで髪をケアしながら速乾ドライを実現するドライヤー「サロニア トリートメントミストドライヤー」「サロニア トリートメントミストドライヤーセラム（ダメージケア）」をオンラインストアにて発売するなど、SALONIAブランドも引き続き新しい取り組みを行い、売上高の伸長に寄与しました。

その他ブランドとして、禁煙をテーマとしたNICOLESSブランドでは、2021年6月にお笑いコンビのマヂカルラブリーさんを起用したTVCMを全国で放映いたしました。合同会社Endianで販売するリラクゼーションドリンクブランドCHILL OUTでは、2021年5月に通常品の約1.3倍の容量となる「チルアウト リラクゼーションドリンク250ml缶」を発売し、自動販売機及びコンビニエンスストアでの配荷の拡大に取り組みました。また、クレイビューティーブランドDROASでも引き続き配荷及びブランド認知の拡大に努めました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,759百万円（前年同期比36.2%増）、営業利益は2,273百万円（前年同期比166.7%増）となりました。

(b) 海外事業

主な事業内容は、当社が開発したブランド商品のインターネットを活用した海外の一般消費者への直接販売、並びに海外のインターネット販売事業者、販売代理事業者、美容専門店への卸売販売であります。

一部の取引先に関して、販売価格やブランディングの管理面から徐々に整理を行い、中国においてはアリババグループの越境ECであるTmall Globalを通じた一般消費者への販売、香港、台湾においては同国内に多数の店舗が展開されている化粧品・コスメショップ・小売店での販売に継続的に取り組みました。

艾恩伊（上海）化粧品有限公司において、2021年5月より中国の大手ドラッグストアグループのWatsons2,750店舗にて、ボタニカルライフスタイルブランド「BOTANIST」のシャンプー及びトリートメント等を販売いたしました。また、アリババグループの運営するECサイトTmall.comへの販売拡大に継続的に取り組みました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は583百万円（前年同期比36.7%増）、営業損失は81百万円（前年同四半期は営業利益42百万円）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,322百万円（前年同期比36.1%増）となりました。また、営業利益は1,588百万円（前年同期比282.7%増）、経常利益は1,562百万円（前年同期比322.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は906百万円（前年同期比260.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、12,786百万円となり、前連結会計年度末よりも377百万円増加いたしました。その主な内訳は、現金及び預金が54百万円、売掛金が315百万円、それぞれ減少し、商品が265百万円、原材料及び貯蔵品が53百万円、前渡金の増加によりその他の流動資産が428百万円、それぞれ増加したことによるものです。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、778百万円となり、前連結会計年度末よりも22百万円増加いたしました。その主な内訳は、有形固定資産が21百万円増加したことによるものです。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、4,909百万円となり、前連結会計年度末よりも、243百万円減少いたしました。その主な内訳は、買掛金が571百万円、その他の流動負債が103百万円、それぞれ減少し、未払法人税等が381百万円、返品調整引当金が51百万円、それぞれ増加したことによるものです。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、586百万円となり、前連結会計年度末よりも、486百万円減少いたしました。その主な内訳は、長期借入金が477百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、8,068百万円となり、前連結会計年度末よりも、1,129百万円増加いたしました。その主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が906百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)につきましては、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し、6,646百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は258百万円（前年同四半期は344百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,561百万円の計上、たな卸資産の増加額318百万円、仕入債務の減少額634百万円、前渡金の増加額393百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は106百万円（前年同四半期は12百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出40百万円、有形固定資産の取得による支出62百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は275百万円（前年同四半期は300百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出480百万円、株式の発行による収入223百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期におきましては、当社ミッション「Chain of Happiness～商品を通じて、世界中を幸せにする～」の実現のために成長を最重視するスタンスに変更はありません。2021年12月期通期の連結業績予想につきまして、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正いたしました。詳細につきましては2021年8月12日に公表いたしました「2021年12月期第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,269	7,214
売掛金	3,373	3,057
商品	1,575	1,841
原材料及び貯蔵品	82	135
その他	112	541
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	12,408	12,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	187	192
減価償却累計額	△52	△70
建物及び構築物（純額）	135	122
機械装置及び運搬具	10	10
減価償却累計額	△3	△4
機械装置及び運搬具（純額）	6	5
工具、器具及び備品	132	193
減価償却累計額	△99	△120
工具、器具及び備品（純額）	33	73
リース資産	49	36
減価償却累計額	△42	△33
リース資産（純額）	7	3
有形固定資産合計	182	204
無形固定資産		
投資その他の資産	96	81
繰延税金資産	306	329
その他	170	164
投資その他の資産合計	476	493
固定資産合計	756	778
資産合計	13,165	13,565

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,675	1,104
電子記録債務	71	8
1年内返済予定の長期借入金	952	949
未払金	1,421	1,466
未払法人税等	376	758
賞与引当金	42	46
返品調整引当金	164	215
ポイント引当金	3	5
資産除去債務	—	14
その他	444	341
流動負債合計	5,152	4,909
固定負債		
長期借入金	1,045	568
資産除去債務	21	18
その他	6	0
固定負債合計	1,073	586
負債合計	6,225	5,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,180	3,291
資本剰余金	2,739	2,851
利益剰余金	1,008	1,915
自己株式	—	△0
株主資本合計	6,928	8,058
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4	30
その他の包括利益累計額合計	4	30
非支配株主持分	6	△20
純資産合計	6,939	8,068
負債純資産合計	13,165	13,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	10,527	14,322
売上原価	5,527	6,640
売上総利益	4,999	7,682
返品調整引当金戻入額	79	258
返品調整引当金繰入額	95	309
差引売上総利益	4,983	7,630
販売費及び一般管理費	4,569	6,042
営業利益	414	1,588
営業外収益		
受取利息	0	0
受取補償金	1	0
その他	2	0
営業外収益合計	3	1
営業外費用		
支払利息	22	9
有価証券評価損	17	—
賃貸費用	—	10
その他	9	6
営業外費用合計	49	26
経常利益	369	1,562
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	369	1,561
法人税、住民税及び事業税	0	704
法人税等調整額	149	△22
法人税等合計	150	681
四半期純利益	219	880
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△32	△26
親会社株主に帰属する四半期純利益	251	906

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	219	880
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△0	26
その他の包括利益合計	△0	26
四半期包括利益	219	906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251	933
非支配株主に係る四半期包括利益	△32	△26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	369	1,561
減価償却費	51	67
有価証券評価損益 (△は益)	17	—
固定資産除却損	—	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	15	51
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	22	9
売上債権の増減額 (△は増加)	1,057	315
たな卸資産の増減額 (△は増加)	312	△318
仕入債務の増減額 (△は減少)	△912	△634
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	14	△18
未払又は未収消費税等の増減額	△163	△112
未払金の増減額 (△は減少)	△397	33
前渡金の増減額 (△は増加)	163	△393
その他	△61	△0
小計	487	562
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△23	△9
法人税等の支払額	△125	△303
法人税等の還付額	4	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	344	258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40	△40
有形固定資産の取得による支出	△141	△62
無形固定資産の取得による支出	△9	△3
敷金の差入による支出	△0	—
敷金及び保証金の回収による収入	180	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12	△106
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500	—
長期借入れによる収入	600	—
長期借入金の返済による支出	△429	△480
リース債務の返済による支出	△10	△10
株式の発行による収入	750	223
自己株式の取得による支出	△1,099	△0
その他	△9	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	300	△275
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	631	△94
現金及び現金同等物の期首残高	1,822	6,741
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,454	6,646

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。